

藤井 三恵子

日本共産党草津市会議員団

- 社会体育施設・都市公園の指定管理運営について
 - ・ 合同会社草津市スポーツ振興事業体に変更の理由
 - ・ 管理運営上の問題発生時の責任と補償について
- 草津市立図書館の整備・充実について
 - ・ 屋根の全面改修と太陽光発電の設置について
 - ・ 図書の改善と職員配置の強化について
- 障害者・児のおかれている実態と支援策について

堀 義明

無所属

- 第14回人権平和ツアー（総行程1,176キロ）に参加して
- 核廃絶実現への取り組みについて

常任委員会

12月15日の本会議で常任委員会に付託された案件の審査を12月16日から18日に3つの常任委員会で行いました。常任委員会での審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

協働のまちづくりについて

問 地域に出向き、協働のまちづくり指針を十分に理解してもらうことが大事だと思うが、どのように考えるか。

答 各学区、地区において、特に連携をいただくべきパートナーである市民センターを中心に、積極的に地域に出向いてみなさんと膝を突き合わせて、地域の課題を共に考えていこうとしている。まちづくり指針は市の方向付けを大きく示したものであり、今後はガイドラインを作成し、個々の学区、地区に応じた取り組みの具体的な方策を、より地域と連携しながら進めていこうと考えている。

平成21年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算について

問 今回の補正予算の原因となった国民健康保険事業特別会計の赤字は今後も引き続き見込まれるのか。また、今後どのように対応していくつもりなのか伺う。

答 対応としては、保険財政の基盤安定のために現在行っている財政的な支援を伸ばしていただくことなどを、常に関係機関や全国組織等に要望しているところである。しかし、根本的な国民健康保険制度の改正を国において行われない限りは、国保税率の見直し(値上げ)を行うことでしか現状を改善できないと考えている。

草津駅前地下駐車場の改修工事にかかる補正予算について

問 補正予算の計上は、想定外のものや緊急性のあるもの等に限定されるべきであり、積算の誤りを訂正するためや、無尽蔵に予算額を積み上げるものではない。今回の補正予算の計上に関し、その内容と補正予算についての考え方を伺う。

答 今回の補正予算は、7,526万4千円を増額し、総額6億8,846万4千円としようとするものである。草津駅前地下駐車場から駐車機械を撤去することで、利便性の向上と経営改善を目指すものであるが、設計委託業務の入札に当たり、2回にわたり不調に終わったことで計画に遅れが生じたことや、消防関連法の施行

総務常任委員会

複合機への変更について

問 各職場のプリンタを複合機に換えたが、メリット、デメリット、ランニングコストを伺う。

答 19年度は出先機関、20年度は庁内のプリンタを複合機に交換した。メリットとして、使用料の減、無線化やファックス機の統合によるスペースの整理、同一業者による保守の効率化があるが、一方、デメリットについては、全体のコストが560万円の増となっており、課題だと考えている。今後1,600万円程のランニングコストが必要だ。22年度からは各所属で予算化を行い、コスト削減を図っていきたい。

文教厚生

常任委員会

新型インフルエンザ対策について

問 草津栗東休日急病診療所特別会計補正予算に計上されている919万4千円の補正予算の内容を伺う。

答 新型インフルエンザの流行に伴い、草津栗東休日急病診療所の患者数が急増したことにより、診察までに長時間待っていただく状況となったことから、医師・看護師各1名体制による1診制から、2診制に変更するものである。その際必要となる医師・看護師・薬剤師等の人員費が約510万円、薬剤等の消耗品費が約400万円必要となるため、増額補正を行うものである。2診制は平成22年2月末までの午前の部で実施する。

産業建設

常任委員会

により従来の泡消火液が使用不能となり、総入替が必要となったこと等により増額となったものである。

しかしながら、東西駐車場を交互に閉鎖し、集中的に工事を施工することで、工事費の削減と工期の短縮を図り、当初廃止予定であった定期駐車枠も利用者の声を反映し、最大30台確保したところである。

工事費の積算については、市の調査不足も否めないが、平成20年度決算においても、4,400万円余が計上された赤字の解消を早期に解消するため補正予算を計上したものであり、このことにより、平成29年度からの黒字転換を目指すものである。